令和元年9月定例会　議案等に対する賛否について

※表中の見方:「○」＝賛成 「×」＝反対 「―」＝退席 「欠」＝採決日の本会議を欠席
※議長は表決に加わらないため、「／」としています。

【市長提出議案①】

議案番号	件　　名	議決日	議決結果	自由民主党（20人）																			公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（1人）	フォーラム38（1人）	創政改拓（1人）	自民クラブ（1人）
				久保大憲	松井邦人	金谷幸則	泉英之	竹田勝	舎川智也（議長）	押田大祐	江西照康	高田真里	高道秋彦	成田光雄	横野昭	金厚有豊	鋪田博紀	高田重信	村家博	有澤守	高見隆夫	柞山数男	五本幸正	松尾茂	松井桂将	佐藤則寿	堀江かず代	岡部享	東篤	村石篤	小西直樹	赤星ゆかり	尾上一彦	橋本雅雄	上野蛍	島隆之	金井毅俊	大島満	木下章広	村上和久
議案第118号	令和元年度富山市一般会計補正予算（第2号）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○
	（反対討論要旨／社会民主党議員会　村石議員） 新たに民間委託の拡大となる東部小学校及び杉原小学校の調理等業務委託費に反対する。民間委託について危惧されることは、①に委託費が安くなることで、経験豊富な調理員の確保が難しくなること、②に3年ごとに受託者が変わることになれば、調理業務従事者がすべて入れ替わる可能性があることが挙げられる。平成２４年６月議会で教育長は「教員と学校栄養職員及び民間事業者の業務責任者の連携により、日々の衛生管理の徹底を図っていく」と答弁している。しかし、平成２９年度衛生管理状況調査の結果では「化膿性疾患が手指にある場合は、適切な処置をし、その記録があるかでは、口頭注意が2校」あった。衛生管理状況には、問題があったと言える。 社会民主党議員会は、これまでの民間委託の検証等を行って、新たな調理等業務の民間委託に反対する。																																						
	（賛成討論要旨／自由民主党　松井邦人議員） 本市では定員適正化計画においても、ただ職員を減らすのではなく、将来を見据えた職員の確保や適正配置に努めています。 少子化の影響で、学校給食は縮小傾向となっており、そうした状況下で給食調理業務を現状維持すると将来的に職員構成がいびつになり、結果として将来世代への負担増となります。そのためにも年齢構成を考慮し、計画的に職員を採用していく必要があります。 本市では平成25年度から民間委託を導入していますが、直営校と民間委託校のどちらも、これまでと変わらず、安全かつ美味しい学校給食を提供しています。万が一、大規模な災害などが発生した場合も同様な要請が行われることになっています。 学校給食調理業務を民間委託するのは、職員削減や経費節減が主たる目的ではなく、将来を見据えた職員の確保や適正配置という観点から進めるものです。																																						
	（反対討論要旨／日本共産党　赤星議員） 市の調理員は94.2%が有資格者だが、民間委託では正副責任者以外「資格不問、未経験者歓迎」で時給は低い。税金から働く人に回る分が減り東京や大阪の大手企業に吸収される。 災害時避難所では調理員も業務にあたるが、民間委託の6年間で139名から112名まで減っている。 日々食材の状態等が変わる現場で栄養士の直接指示が必要だが、民間には偽装請負になるのでできなくなる。 民間委託校では、大きく貼り出してあった調理員の顔写真はなくなり、子どもたちとのふれあいが後退。 直営3人で400食を作る経験27年、12年、7年の調理員の熟練の技を見て、話を聞いた。衛生面、動線、段取り、美味しくするノウハウの蓄積。素敵な子どもたちとの関わりもまさに教育。どこに民間委託せねばならない理由があるのか。 教育である学校給食は公務員の仕事として直営を維持すべき。																																						
議案第119号	令和元年度富山市公債管理特別会計補正予算（第1号）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第120号	令和元年度富山市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第121号	令和元年度富山市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第122号	令和元年度富山市企業団地造成事業特別会計補正予算（第1号）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第123号	令和元年度富山市白樺ハイツ事業会計補正予算（第1号）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第124号	令和元年度富山市牛岳温泉スキー場事業会計補正予算（第1号）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第125号	令和元年度富山市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【市長提出議案②】

議案番号	件　名	議決日	議決結果	自由民主党（20人）																				公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（1人）	フォーラム38（1人）	創政改拓（1人）	自民クラブ（1人）
				久保大憲	松井邦人	金谷幸則	泉英之	竹田勝	舎川（議長）智也	押田大祐	江西照康	髙田真里	髙道秋彦	成田光雄	横野昭	金厚有豊	鋪田博紀	高田重信	村家博	有澤守	髙見隆夫	柞山数男	五本幸正	松尾茂	松井桂将	佐藤則寿	堀江かず代	岡部享	東篤	村石篤	小西直樹	赤星ゆかり	尾上一彦	橋本雅雄	上野蛍	島隆之	金井毅俊	大島満	木下章広	村上和久
議案第126号	令和元年度富山市病院事業会計補正予算（第1号）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第127号	富山市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定の件	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第128号	富山市細入総合福祉センター条例の一部を改正する条例制定の件	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第129号	富山市保育所条例の一部を改正する条例制定の件	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第130号	富山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第131号	富山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額を定める条例等の一部を改正する条例制定の件	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第132号	富山市認可外保育施設に係る施設等利用費の支給に関する条例制定の件	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第133号	富山国際会議場条例の一部を改正する条例制定の件	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第134号	富山市八尾おわら資料館条例の一部を改正する条例制定の件	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第135号	富山市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定の件	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第136号	富山市消防団条例の一部を改正する条例制定の件	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第137号	富山市手数料条例の一部を改正する条例制定の件	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第138号	工事請負契約締結の件（奥田北小学校大規模改造（その2）主体工事）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第139号	工事請負契約締結の件（堀川南小学校校舎増築主体工事）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第140号	工事請負契約締結の件（富山駅北口地下広場整備（その1）工事）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第141号	工事請負契約締結の件（富山駅北口地下広場整備（その2）工事）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第142号	工事請負変更契約締結の件（都市計画道路下新西町上赤江線大島橋上部工工事）	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第143号	平成30年度富山市水道事業会計未処分利益剰余金の処分の件	9/26	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																					
議案第144号	平成30年度富山市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分の件	9/26	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																					
議案第145号	平成30年度富山市公共下水道事業会計未処分利益剰余金の処分の件	9/26	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																					
議案第146号	富山市監査委員の選任に関し同意を求める件	9/26	同意	○	○	○	○	○	／	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第147号	人権擁護委員の候補者の推薦に関し意見を求める件	9/26	異議なしとの意見	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【市長提出議案③】

議案番号	件　　名	議決日	議決結果	自由民主党（20人）																			公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（1人）	フォーラム38（1人）	創政改拓（1人）	自民クラブ（1人）
				久保大憲	松井邦人	金谷幸則	泉英之	竹田勝	舎川智也（議長）	押田大祐	江西照康	高田真里	高道秋彦	成田光雄	横野昭	金厚有豊	鋪田博紀	高田重信	村家博	有澤守	高見隆夫	柞山数男	五本幸正	松尾茂	松井桂将	佐藤則寿	堀江かず代	岡部享	東篤	村石篤	小西直樹	赤星ゆかり	尾上一彦	橋本雅雄	上野蛍	島隆之	金井毅俊	大島満	木下章広	村上和久
認定第1号	平成30年度富山市一般会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第2号	平成30年度富山市公債管理特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第3号	平成30年度富山市駐車場事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第4号	平成30年度富山市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第5号	平成30年度富山市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第6号	平成30年度富山市まちなか診療所事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第7号	平成30年度富山市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第8号	平成30年度富山市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第9号	平成30年度富山市企業団地造成事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第10号	平成30年度富山市白樺ハイツ事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第11号	平成30年度富山市牛岳温泉健康センター事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第12号	平成30年度富山市牛岳温泉スキー場事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第13号	平成30年度富山市競輪事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第14号	平成30年度富山市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第15号	平成30年度富山市公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第16号	平成30年度富山市軌道整備事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第17号	平成30年度富山市賃貸住宅・店舗事業特別会計歳入歳出決算	9/26	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第18号	平成30年度富山市水道事業会計決算	9/26	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第19号	平成30年度富山市工業用水道事業会計決算	9/26	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第20号	平成30年度富山市公共下水道事業会計決算	9/26	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			
認定第21号	平成30年度富山市病院事業会計決算	9/26	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																																			

【議員提出議案】

議案番号	件　名	議決日	議決結果	自由民主党（20人）																			公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（1人）	フォーラム38（1人）	創政改拓（1人）	自民クラブ（1人）
				久保大憲	松井邦人	金谷幸則	泉英之	竹田勝	舎川智也（議長）	押田大祐	江西照康	髙田真里	髙道秋彦	成田光雄	横野昭	金厚有豊	鋪田博紀	高田重信	村家博	有澤守	髙見隆夫	柞山数男	五本幸正	松尾茂	松井桂将	佐藤則寿	堀江かず代	岡部享	東篤	村石篤	小西直樹	赤星ゆかり	尾上一彦	橋本雅雄	上野蛍	島隆之	金井毅俊	大島満	木下章広	村上和久
議員提出議案第16号	木下章広議員に対する議員辞職勧告決議	9/3	原案可決	○	○	○	○	欠	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
	（賛成討論要旨／日本共産党　赤星議員） 木下章広議員に対する議員辞職勧告決議案に対して、日本共産党は賛成する。 7月1日に公になった、木下議員が行なってきた行為については、全く辞職に値する行為であることは、誰の目にも明らかである。6月議会での糾弾決議も、当初から辞職勧告決議とすべきであった。木下議員には、自ら、市民、有権者に対して説明し、潔く、辞職すべきだ。同時に、富山市議会としても、木下議員が自ら市民に対して説明させる機会を設けるべきだったが、今からでも行うべきだ。 本日、急きょ提出された決議案であるが、案文には具体性に欠ける部分がいくつもあるため質疑を行った。その結果、不明な点は明らかにされたと思うので、賛成する。																																							
議員提出議案第17号	地方創生のさらなる推進を求める意見書	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	（反対討論要旨／日本共産党　小西議員） 地方創生の中心問題、人口減少や東京一極集中を正すことは国民の切実な望みだが、安倍政権はそれに答えていない。アベノミクス効果の全国波及・世界で一番企業が活躍しやすい国へと地方をつくり替え、規制緩和や撤廃を押付けてきた。 人口減少は若者の結婚、出産、子育てが難しい状況だからだ。労働者派遣法改正で非正規雇用等と低賃金、長時間労働が強いられてる。 大企業・財界の儲け最優先政策、TPPや日米貿易協定で農業等を切り崩し、リニア新幹線等の大型開発で東京集中を更に進める事になる。 地方創生推進交付金は政府が認定する事業に優先選別の偏った地方創生である。 農林水産業等の活用、雇用・所得・社会保障・子育て施策と条件不利地域へ地方交付税拡充、大型開発の見直し、地域密着・防災・維持管理優先の公共投資に振り向けるべきだ。																																							
議員提出議案第18号	高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書	9/26	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第19号	核兵器禁止条約への参加を求める意見書	9/26	否決	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×
	（賛成討論要旨／日本共産党　小西議員） 核兵器のない世界は被爆国日本国民の切実な願いだ。 昨年12月の国連総会が「核兵器禁止条約への署名と批准を呼びかける決議」を126カ国、加盟国2／3の賛成で可決した。 核兵器禁止条約は50カ国の批准で発効する。現在、調印国は70カ国、批准国が26カ国に達する。 核兵器廃絶に被爆国日本には特別の責務がある。 安倍政権は、核保有国と非核保有国の「橋渡し」を主張しているが、昨年の国連総会で日本政府は決議に棄権した。 日本政府に求められるのは核兵器禁止条約の参加を訴える外交だ。 米国で1400以上の市が参加の全米市長会で7月に条約支持の立場を再度、確認した。 日本では9月24日現在、415自治体が署名・批准を求める意見書を可決している。核兵器禁止条約を批准し、地球から核兵器の廃絶をめざすイニシアティブを発揮しよう。																																							
議員提出議案第20号	消費税率10%への増税に反対する意見書	9/26	否決	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×
	（賛成討論要旨／日本共産党　小西議員） 安倍政権の増税に、どの世論調査でも国民の反対が50%を超え、経済情勢でも増税できる状況ではない。 安倍政権が過去2回増税を延期した時、日本・世界経済の悪化を理由にしたが、最近は中国経済の減速や米中貿易戦争、日韓問題等で今はそれ以上に深刻な状況だ。毎月勤労統計調査では、7月の実質賃金は前年比1.7%減少、前年同月比は7カ月連続で下落だ。 安倍政権の対策はキャッシュレス取引のポイント還元やプレミアム商品券だ。しかし税率を10%、8%、6%、5%、3%と5種類で制度を複雑にしているだけだ。ポイント還元はキャッシュレス支払い時だけ、キャッシュカードやスマホが持てない低所得者と利用者との格差が広がるだけだ。 ポイント還元は9ヶ月限定、来年7月以降の個人消費への影響が懸念される。増税は今からでも中止すべきだ。																																							

【請願・陳情①】

案件番号	件　　名	議決日	議決結果	自由民主党（20人）																				公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（1人）	フォーラム38（1人）	創政改拓（1人）	自民クラブ（1人）
				久保大憲	松井邦人	金谷幸則	泉英之	竹田勝	舎川智也（議長）	押田大祐	江西照康	高田真里	高道秋彦	成田光雄	横野昭	金厚有豊	鋪田博紀	高田重信	村家博	有澤守	高見隆夫	柞山数男	五本幸正	松尾茂	松井桂将	佐藤則寿	堀江かず代	岡部享	東篤	村石篤	小西直樹	赤星ゆかり	尾上一彦	橋本雅雄	上野蛍	島隆之	金井毅俊	大島満	木下章広	村上和久
令和元年分請願第5号	議員の政治倫理に関する条例制定の請願	9/26	継続審査	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×
	（継続審査に反対討論要旨／光　上野議員） 富山市議会の政治倫理のあり方は約3年前から問われ続けており、市民の方々からも現在の富山市議会の現状について、たくさんのお声を頂いていることは、誰もが承知している。倫理とは「善悪・正邪の判断において普遍的な規準となるもの。」であり、誰か一人の考えではない。思想、政治観、さまざまな議員がいるからこそ、議会の一部の「慣習」や「通念」にとどまるものではなく、条例を制定することで会派間での相違、議会と市民の間での相違という「認識の違い」ではなくなる。議員として選ばれた時点で完成形なのではなく、より深化していくように求められているものだ。県内で条例がない市は富山市だけとなり、議会全体としての「約束」として市民の皆様へ示すために、研修だけではなく具体的な検討へ入るべきという立場から継続審査へ反対する。																																							
	（継続審査に反対討論要旨／日本共産党　赤星議員） 継続審査ではなく直ちに採択すべき。 今月、政務活動費不正事件で元市議3名が詐欺罪で有罪判決を受け、現職市議1名が公判中、別の現職市議1名が建造物侵入で書類送検という事態となっている。市民による政務活動費の複数の住民訴訟も続いており、市民は富山市議会に対して怒り心頭な状況である。 「富山市議会には最も政治倫理条例が必要だ」と勇気を持って声をあげた請願人の思いに答え、やるのかやらないのか、のらりくらりと先送りでなく意思表示すべき。反省の上に立って条例制定すると決めるべき。 意見陳述したいという請願人の願いをなぜ「必要ない」などと切り捨てたのか。 また新たな不正発覚や、新たな判決が出た場合にどうするのか。いま腹を括らなくていつ決めるのか。市民の声に素直に耳を傾ける議会に富山市議会は変わらなければならない。																																							

※表中の討論要旨については、各議員が発言内容を1案件あたり350字程度にまとめたものを掲載しています。（討論の掲載順は実際の発言順としています。）
※各発言の全文については、「富山市議会インターネット中継」の9月26日開催の本会議分、または、「令和元年9月富山市議会定例会会議録」（令和元年11月下旬発行予定）にて、ご確認ください。
※令和元年請願第5号については、継続審査についての議員個々の賛否を掲載しています。

【会議規則に伴う案件】※

件　名	議決日	議決結果	自由民主党（20人）																				公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（1人）	フォーラム38（1人）	創政改拓（1人）	自民クラブ（1人）
			久保大憲	松井邦人	金谷幸則	泉英之	竹田勝	舎川智也（議長）	押田大祐	江西照康	高田真里	髙道秋彦	成田光雄	横野昭	金厚有豊	鋪田博紀	高田重信	村家博	有澤守	髙見隆夫	柞山数男	五本幸正	松尾茂	松井桂将	佐藤則寿	堀江かず代	岡部享	東篤	村石篤	小西直樹	赤星ゆかり	尾上一彦	橋本雅雄	上野蛍	島隆之	金井毅俊	大島満	木下章広	村上和久
令和元年分請願第5号紹介議員取消の件について当該紹介議員である木下議員に趣旨説明を求める動議	9/26	可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	—	×
令和元年分請願第5号紹介議員取消の件	9/26	否決	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	—	○
（賛成討論要旨／日本共産党　赤星議員） 糾弾決議、辞職勧告決議を採択した木下議員の問題は「政治倫理」以前の次元の問題であり、未だ辞職していないことはその自覚がなく、誠に遺憾であり許すことはできない。 しかし請願人は木下議員がそのような行為を行っていたことは知る由もなく紹介議員を頼んでしまったのだから、請願人に責任はない。 問題行動発覚後直ちに議長宛てに紹介議員から削除するよう要請され、木下議員本人も認めて紹介議員取消し願いを提出したのに、否決するとはどういうことなのか。市民から「請願人と他の紹介議員への『見せしめ』『嫌がらせ』か」という怒りの声が聞こえる。 憲法第16条の請願権の保障をどう考えているのか。請願の主権者は請願した人であり尊重するべき。 紹介議員取消しは許可して当然。今回も否決するなどということのないように訴えて賛成討論とする。																																							

※これまで議案、請願・陳情以外で、会議規則に定められている承認等の案件については掲載しておりませんでしたが、今回は請願者にも関わりがある案件のため掲載しています。